



# News Release

報道関係者各位

2008年8月20日

中間法人 知的財産教育協会

## 新・国家試験 知的財産管理技能検定 第1回 検定実施結果公表

知的財産管理技能士が誕生。合格後も継続的な学習機会等の提供を決定

中間法人知的財産教育協会(東京都港区、理事長:棚橋祐治)は、2008年8月20日、「第1回知的財産管理技能検定(2008年7月6日(日)実施)」の検定実施結果を公表しました。

### 知的財産管理技能検定として初の検定実施。知的財産管理技能士が誕生

国家試験・知的財産管理技能検定(以下、当検定)は、2008年7月6日(日)に、第1回試験を実施し、検定実施結果を当検定HP上にて公表しました。

表1 第1回 試験種別結果データ

(人)

試験種	1級学科	1級実技	2級学科	2級実技	3級学科	3級実技	合計
申込者数	260	-	602	593	2,272	2,226	5,953
受検者数	228	-	558	549	2,088	2,059	5,482
合格者数	15	-	282	255	1,961	1,869	4,382

第1回は1級実技試験の実施なし

受検申込者数は延べ5,953名であり、特に3級が多くの方に受検されました(表1参照)。

3級は知的財産を初めて学ぶ方にとって最初のステップであることから、多くの方にとって受検しやすい級であるということ、また、3級合格が2級の受検資格の選択肢の一つにもなることから、2級受検を視野に入れていく方による受検も多かったものと思われます。

3級から2級へと更にステップアップをすることで、より幅広く深い知的財産の知識と技能を身につけられることが期待されます。

表2 知的財産管理技能士数

(人)

実施回	1級	2級	3級	合計
第1回(2008年7月実施)	-	207	1,796	2,003
合計	-	207	1,796	2,003

第1回は1級実技試験の実施なし

学科試験と実技試験の両方に合格すると、「知的財産管理技能士」となります。今回の試験では、二級知的財産管理技能士(管理業務)は207名、三級知的財産管理技能士(管理業務)は1,796名誕生しました(表2参照)。



所属会社業種は、電気機械工業と情報通信業が多数。学生の在籍学部は文系・理系に偏りなし

表3 申込者属性データ

試験級	全体集計・職業割合	企業集計・所属会社の業種	学生集計・在籍学部
1級	知財 58.1% 研究開発 12.3% その他 6.2%	電気機械工業 32.0% 情報通信業 9.9% 化学工業 その他の非製造業 7.9%	
2級	知財 36.7% 研究開発 15.8% その他 10.5%	電気機械工業 15.9% その他 15.0% 情報通信業 10.5%	法律 38.5% 電気 23.1% 化学 機械 物理 医・歯・薬学 文系その他 7.7%
3級	その他 22.6% 該当しない(学生) 20.4% 生産・エンジニア 8.7%	その他 21.1% 情報通信業 17.8% その他の非製造業 11.4%	法律 36.6% 化学 10.1% 経済・経営 8.4%

申込時のアンケート(任意)集計結果。割合の高い順

申込者の属性データのうち「職業割合」については、1級 = 知財(58.1%)、2級 = 知財(36.7%)、3級 = その他(22.6%)が一番高い割合となりました(表3参照)。1級申込者の半数以上が知財だったのは、1級は知財実務のプロフェッショナルが対象と想定されるため、知財に特化した業務(主に特許)に携わる方の受検が多かったものと思われます。

所属会社の業種については、1級・2級は「電気機械工業」が一番高い割合を示しましたが、1・2・3級とも共通して高めの割合だった業種は「情報通信業」でした。また、学生の「在籍学部」は、文系・理系の偏りはなく、幅広い学部在籍者に受検されていることがわかりました。

### 知的財産への関心度の高い都道府県は、東京都が1位

今回の検定実施結果を分析するにあたり、都道府県別受検者数合計と人口の数値を元に、本リリース上のみで「都道府県別単位人口100万人あたりの受検者数」を割り出し、20位までピックアップしました(表4参照)。受検者の人数だけでなく、人口100万人あたりの受検者数割合を出すことで、「知的財産への関心度の高さ」を見る参考となるデータになると考えました。

表4 都道府県別単位人口100万人あたりの受検者数

1位	東京都 129.8人	11位	香川県 35.8人
2位	神奈川県 98.6人	12位	茨城県 34.0人
3位	千葉県 74.3人	13位	福岡県 31.6人
4位	埼玉県 66.7人	14位	岡山県 31.2人
5位	奈良県 66.0人	15位	三重県 28.3人
6位	京都府 51.2人	16位	山梨県 27.4人
7位	大阪府 49.8人	17位	岐阜県 25.2人
8位	愛知県 46.1人	18位	広島県 25.1人
9位	滋賀県 45.8人	19位	佐賀県 23.3人
10位	兵庫県 42.8人	20位	静岡県 23.2人

人口の数値は、平成20年4月15日公表「平成19年10月1日現在推計人口」(総務省統計局)を使用  
受検者数合計は、1級学科試験、2級学科試験・実技試験、3級学科試験・実技試験の受検者数の総数

その他、検定実施結果の詳細データについては、下記ページの公表資料をご確認ください。

第1回知的財産管理技能検定 実施結果データ URL: [http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam\\_kekka080706](http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam_kekka080706)



## 知的財産管理技能士に、合格後も継続的な学習の機会や情報の提供等を実施することを決定

当協会は、このたび「知的財産管理技能士」の資格を取得された方が誕生したことに伴い、独立行政法人工業所有権情報・研修館(以下、INPIT)と共同で、知的財産管理技能士1級・2級の資格を取得された方を対象にフォローアップ研修を実施することとしました。

本国家資格は永久資格ですが、技能検定の趣旨が、知識・技能の証明であるため、合格後も知的財産管理技能士に対して継続的な学習の機会(フォローアップ研修等)や情報の提供等を行い、知的財産管理技能士の知識・技能の維持・向上に寄与することを目指します。

フォローアップ研修は、INPIT および特許庁に蓄積されている専門的知見・ノウハウ(最新の内外の知財政策、法改正に関する情報および審査・サーチに関する専門的知見)を活用し、実施することとなります。

今後、知的財産管理技能士に対しては、上記以外にも様々な学習の機会や情報提供を企画し、実施していく予定です。

(参考)

・News Release 2008年8月14日「独立行政法人工業所有権情報・研修館と当協会との連携について」  
技能士の知識・技能向上に寄与することおよび検定の普及を図ることに合意  
<http://ip-edu.org/newsrelease>

## 第2回(11月9日(日))知的財産管理技能検定 実施予定

第2回試験は、11月9日(日)に全国6地区で実施します。今回より、1級実技試験を開始します(1級学科試験の合格者のみ受検可能)。

試験日	2008年11月9日(日)
実施試験種	1級学科試験・実技試験、2級学科試験・実技試験、3級学科試験・実技試験 1級実技試験は、東京地区のみでの実施
実施地区	北海道、東京、愛知、大阪、岡山、福岡
申請書請求期間	個人郵送申込・2008年8月4日(月)～2008年8月21日(木) 協会必着
申請書類ダウンロード期間	団体申込・2008年8月4日(月)～2008年8月21日(木)
申請受付期間	個人 Web 申込・2008年8月22日(金)～2008年9月24日(水) 個人郵送申込・2008年8月22日(金)～2008年9月5日(金) 消印有効 団体申込・2008年8月22日(金)～2008年9月5日(金) 協会必着
合格発表	2008年12月25日(木)

当検定の詳細情報については、下記 HP をご確認ください。

知的財産管理技能検定 TOP <http://www.kentei-info-ip-edu.org/>

年間実施予定 [http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam\\_yotei](http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam_yotei)

過去の試験問題・解答 <http://www.kentei-info-ip-edu.org/gakushujoho>

当協会では、知的財産に関する知識の普及と啓蒙を活動趣旨としています。当検定がより多くの方に活用され、国が推進している知財人材育成によりいっそう貢献できるものになるよう努めてまいります。

## 【本件に関するお問い合わせ】

知的財産教育協会 広報担当・安場 E-mail: [support@ip-edu.org](mailto:support@ip-edu.org)

知的財産管理技能検定 HP <http://www.kentei-info-ip-edu.org/>

知的財産教育協会 HP <http://ip-edu.org/>